

# NPO アイキャンによる講演会

## 路上で暮らすフィリピンの子供たち

10月20日 NPO アイキャンから西坂幸さんを講師にお招きしました。

北高国際理解コースとNPO アイキャンさんとのお付き合いは、  
6年にも及び、今まで多くの生徒がアイキャンの活動に賛同し、協力しています。



## 生徒の感想

・講演会でたくさんの写真を見ました。一番印象に残っている写真は子供がビニール袋で寝ている写真でした。私は生まれてから当たり前のように家があり、暖かい布団で寝ています。この写真を見て、改めて自分は恵まれているのだと思いました。

・路上教育や、養護施設の運営などの直接的な支援は、私たち高校生には、正直難しいと思います。しかし間接的な支援でできることはたくさんあると感じました。友人や家族に話をして、この問題が深刻で解決困難な問題であることを再認識してもらえるよう、SNSなど活用していきたいです。

・この問題を知らずに生きてきたと思うだけで、胸が痛くなりました。これを機会にたくさん学びたいと思います。

・日本にいる私たちには理解できない世界が存在している。でも同じ地球に暮らす同じ人間なのだから、「別世界の話ではない」ということを、この講演を聞いて学びました。

・ICANの活動についてさらに調べてみたところ、古本をリサイクルする資金調達方法を見つけた。誰の家にも、使わなくなったものがあるはずだ。私たちはまだ高校生でお金もなく、直接の支援は難しいが、リユースできるものを探すことはできる。自分の出したリユース品が人のためになるなんて、なんだか夢のような話だ。